

ご利用案内

通常放映日時＝土・日・祝日

通常放映時間・内容(4月～6月)

11:00(幼児～小学生向け)	13:30(小～中学生向け)	15:00(高校生～大人向け)
たいようくんとおつきちゃん ポケットモンスター XY そらのほへん 宇宙の破片 ほしのおはなし	おとめ座物語 ポケットモンスター XY そらのほへん 宇宙の破片 星空解説 ※4/25(土)の「親子プラネタリウム」は別内容となります。	3Dプラネタリウムへの招待 1秒ちょっと前の月 星空解説

※ご希望による放映も行います。事前予約が必要となりますので、詳細はお問い合わせください。

観覧料

高校生以上(個人)	510 円
高校生以上 (団体 20 名以上)	410 円
中学生以下	無料

☆博物館パスポート 1 枚につき、
高校生以上 1 名無料

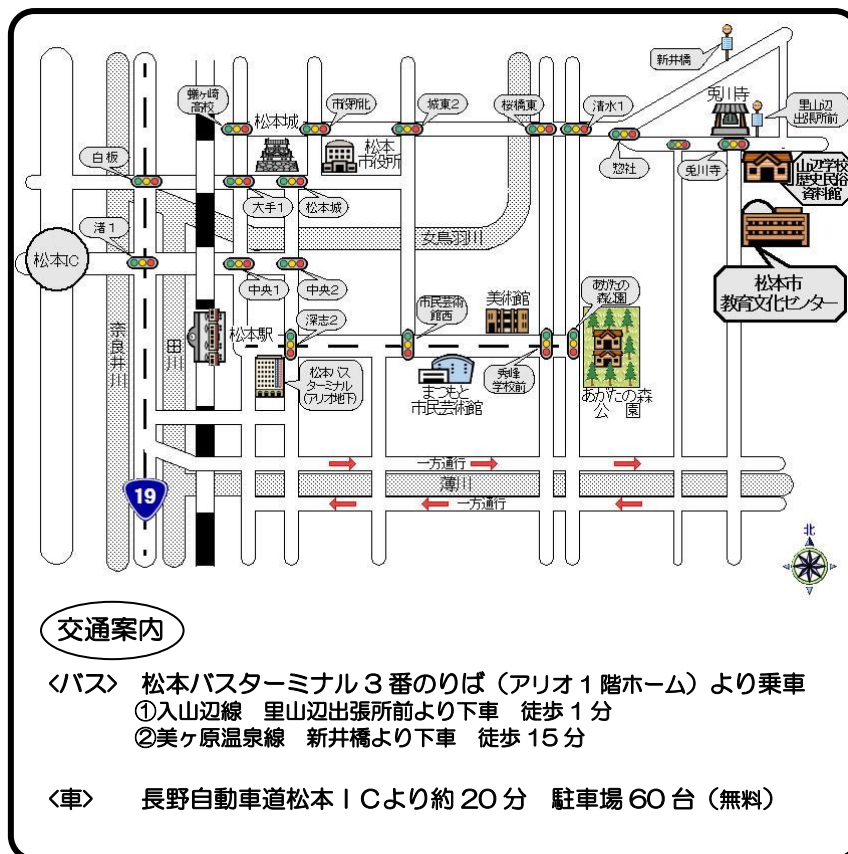
☆転入世帯優待券 1 枚につき、
1 世帯家族無料

☆障害者手帳持参により、
本人とその介助者 1 名無料

☆市内在住 70 歳以上の方は無料

☆その他、各種イベント開催時には無料

アクセス



交通案内

＜バス＞ 松本バスターミナル 3 番のりば (アリオ 1 階ホーム) より乗車
①入山辺線 里山辺出張所前より下車 徒歩 1 分
②美ヶ原温泉線 新井橋より下車 徒歩 15 分

＜車＞ 長野自動車道松本 I C より約 20 分 駐車場 60 台 (無料)

編集後記

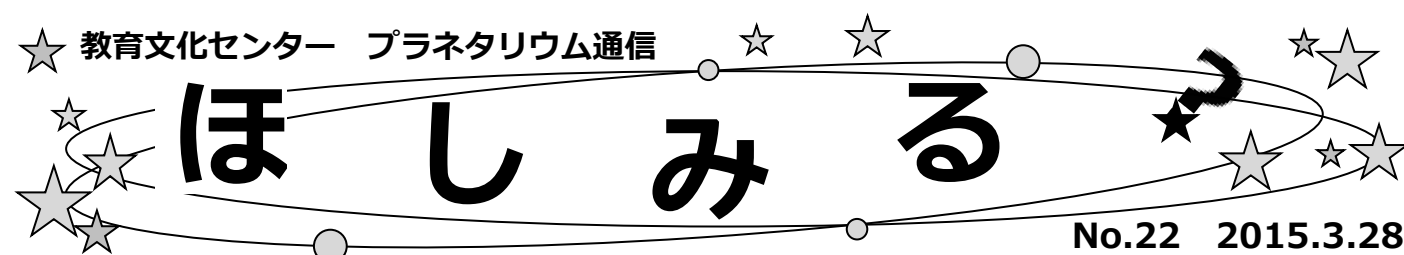
「ほしみる」No22 の発行です。
「ターコイズフリンジ」は去年の月食の時に話題となった現象です。赤い月に映える青いベルトの美しいコントラストが見られることを期待しましょう。
ターコイズは、緑がかった青色を持つ不透明な宝石で、トルコ石とも呼ばれています。

松本市教育文化センター

〒390-0221 松本市里山辺 2930-1

TEL:0263-32-7600 FAX:0263-32-7604

E-mail:kyoubun@city.matsumoto.nagano.jp



12分の皆既月食

去年の 10 月に話題となった「皆既月食」。その半年後の 4 月 4 日(土)に再び見る事ができます。前は 1 時間ほどの長い月食でしたが、今回は約 12 分と、とても短い時間となります。

月食とは？

太陽－地球－月の順に 3 つの天体
が一直線に並び、月の一部、ま
たは全体が地球の影に入り込んでし
まう現象です。

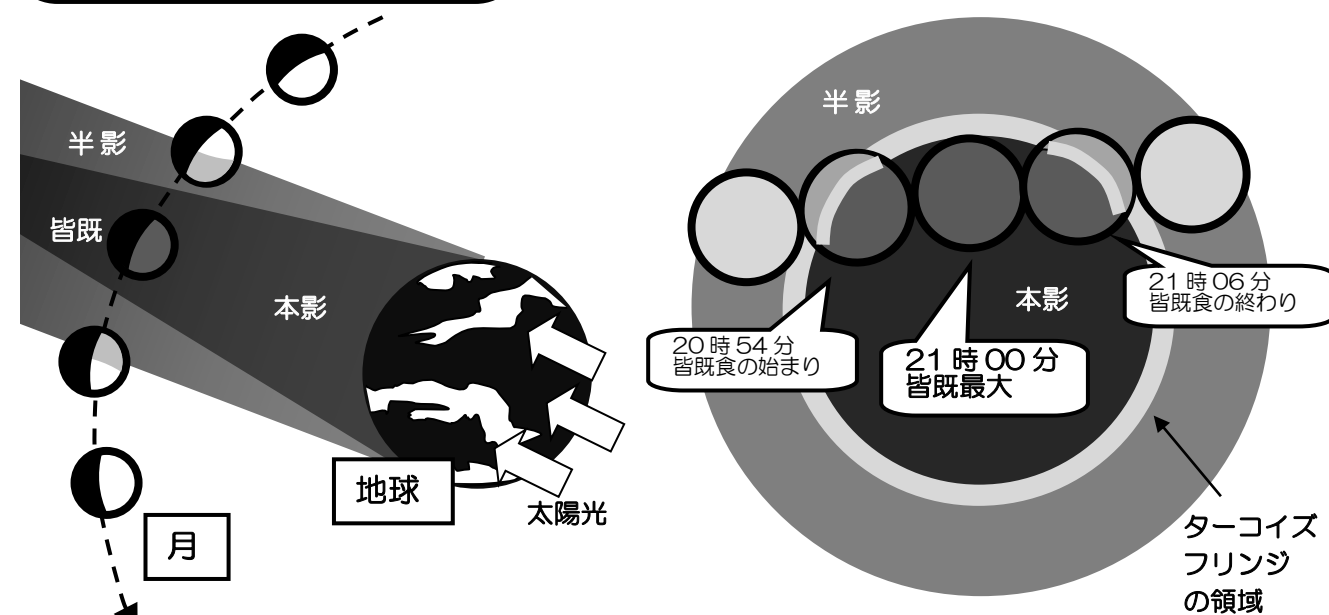
月食は、必ず満月の日に発生しま
す。ただし、地球の公転面の傾きと、
月の公転面の傾きが一致しないため、
満月の時に毎回見られるわけではあ
りません。

月食の種類

地球の影には、太陽光が遮断された濃い影である「本影」と、本影をとり囲む薄い影である「半影」があります。

一般的には月が本影に入り込んだ状態を「月食」と呼び、月の一部だけが入り込むことを「部分食」、月全体が入り込むことを「皆既月食」と言います。

「半影食」は、月の一部あるいは全体が半影に入った状態です。半影は薄い影なので、目で見るとほんの少し薄暗くなる程度です。



なんで12分しか見られないの？

皆既月食になる時、月は地球の影の中を通過します。地球からは月が端から徐々に欠けていき、やがて月全体が影に覆われたように見えます。

今回の月食では、月は地球の本影の端、部分月食になるかならないかギリギリのところを通るため、本影にいられる時間が短くなり、月食の時間が短くなります。

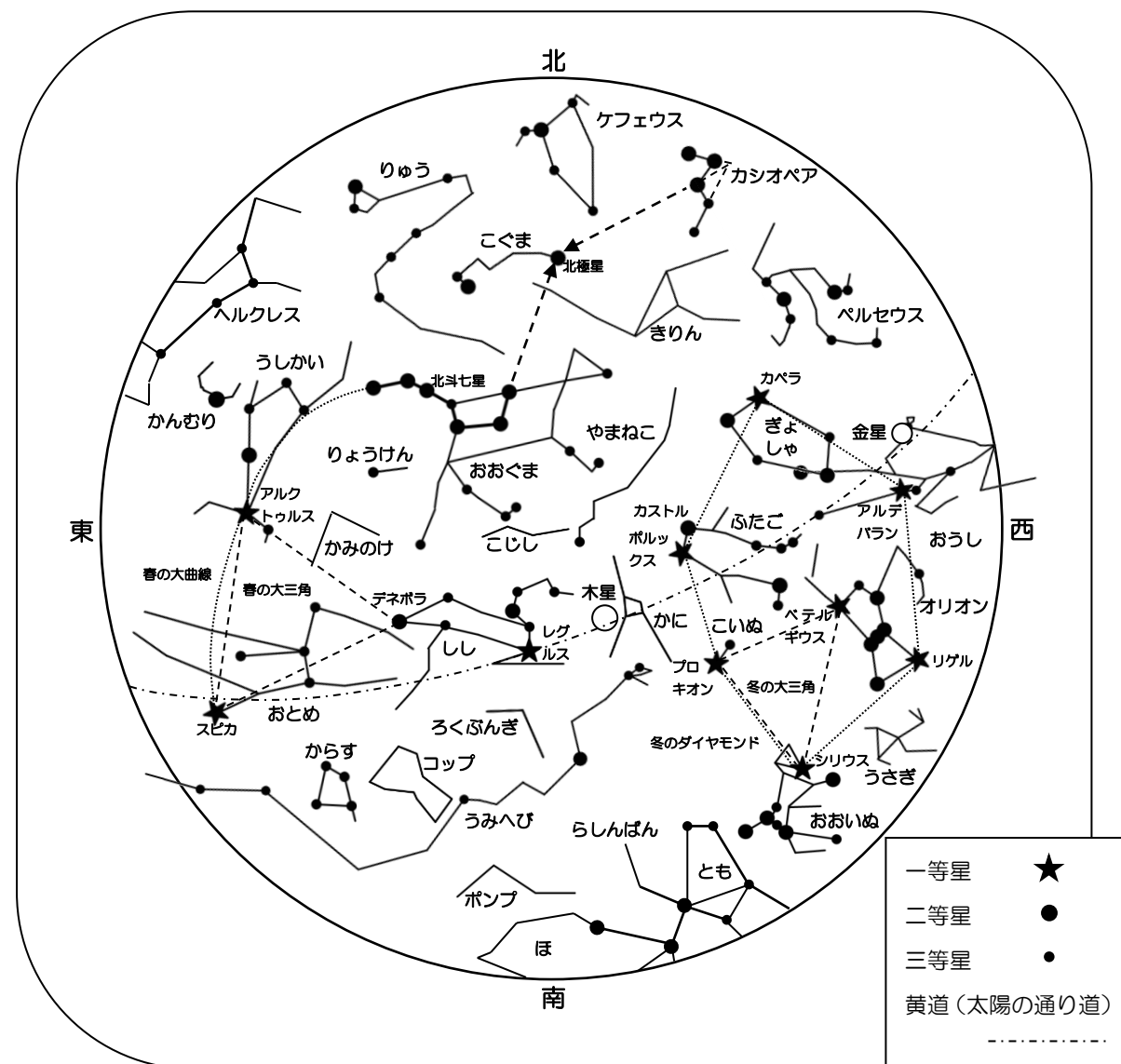
ターコイズフリンジ

皆既月食の時、月は赤銅色になります。これは、地球に向かう太陽の光が、大気中のちりや水蒸気により青い光は散乱し、赤い光だけが地球の大気中を通過するためです。通過した光は大気により少しだけ屈折し、本影に入り込んだ月を赤く照らします。

このとき、本影の外縁、つまり本影と半影の境目に青い光がバンド状に広がって見えることがあります。これを、「ターコイズフリンジ」と呼びます。「ターコイズフリンジ」は、地球の成層圏上部のオゾン層では青い光の散乱より赤い光の吸収の方が強いので、青い光が透過して起こります。

季節の星空

4月15日20時頃の松本の星空



4月の主な天文情報

- 3(金) イオの影にエウロパが入る(相互食、金環食)
- 4(土) 満月、皆既月食
- 10(金) イオの影にエウロパが入る(相互食、金環食)
- 12(日) 金星とおうし座のプレアデス星団が接近
- 17(金) イオの影にエウロパが入る(相互食、金環食)
- 19(日) 新月
- 21(火) 月と金星、おうし座の1等星アルデバランが近づく
- 23(木) こと座流星群が極大(出現期間 4/16~4/25)
- 26(日) 月と木星が近づく

ガリレオ衛星と相互食

木星には衛星が60個以上あり、そのうち、イタリアの天文学者ガリレオ・ガリレイが発見した4つの大きな衛星を「ガリレオ衛星」と呼びます。それぞれ木星に近い順から、イオ、エウロパ、ガニメデ、カリストと名付けられています。木星の赤道面は6年に1度、地球から見て真横を向くため、ほぼ同じ赤道面を回るガリレオ衛星が他の衛星を隠したり、衛星の影に他の衛星が入り込んだりする「相互食」が発生します。

極大→天体の活動が最も活発になること。流星群の場合は、最も多く流星が現れる期間を指します。

☆ ☆ ☆ プラネタリウム事業案内 ☆ ☆ ☆

4/18(土) ☆星空散歩・星の観望会 19:30~21:00

天体望遠鏡を使って、季節の天文現象を観測します。

(天候不順で観測ができない場合はプラネタリウムをご覧ください。)

受付開始:4/11(土) 8:30より 定員:40人(小学生以上)

4/25(土) ☆親子プラネタリウム 13:30~

親子連れの方を中心に楽しめるよう、番組の無料投映を行います。

今回のテーマは「宇宙の果て」です。申し込み不要。先着90人。

5/10(日) ☆太陽観測 9:00~10:15

大型天体望遠鏡を使って、太陽のプロミネンスや黒点を観測します。

専用のフィルターを使用し、安全に観測できます。

(天候不順で観測ができない場合はプラネタリウムをご覧ください。)

受付開始:5/3(日) 8:30より 定員:15人(小学生以上)

※事前申し込みが必要な事業についての受付は、電話受付のみとさせていただきます。

4月の新番組『1秒ちょっと前の月』



(あらすじ)

「宇宙はどうなっているのだろうか?」「宇宙の大きさは?」「宇宙の外側とは?」というテーマは多くの人にとって普遍かもしれません。我々はどこから来て、どこへ行くのか?...これは、人類にとって永遠のテーマであり、その答えは未だに謎のままではありますが、宇宙の大きさを歴史上の天文学者と一緒に考えることで、宇宙に対する興味を深めていただければ幸いです。

制作・著作: 株式会社リブラ HAKONIWA PROJECT

脚本・サウンド編集: 鷲巢 亘

CG: 藤井 昇

編集・CG: 福留政彦

キャラクターデザイン・アニメーション: 塚田洋子

協力: 高嶋規子

上映時間: 約24分



Copyright©リブラ Corporation HAKONIWA Project. All Rights Reserv